

あのとぎの常呂・写真館

VOL 124

(1987年)

昭和62年3月19日

国鉄湧網線廃止「さようなら湧網線」

▶ 湧網線の廃止が近づき、「広報ところ」2月号では臨時列車の運行を伝えています。

* 運転区間 / 網走—中湧別間

* 運転期間 / 2月8—11, 14, 15, 21, 22, 28

3月1, 7, 8, 14, 15, 19

* 発車時刻 / 網走 (10:36) → 常呂 (11:21) → 中湧別 (13:05)

中湧別 (13:50) → 常呂 (15:34) → 網走 (16:18)

▶ 3月19日は「さよなら湧網号」が運行し、常呂駅で「さよならセレモニー」が行われました。このときのような写真を写真と「広報ところ」4月号の記事で紹介します。







惜しまれて旅立ち

さよなら湧網線

50年の歴史閉じる



網走湖、能取湖、オホーツク海、サロマ湖と、景勝の湖と海をすりぬけるように走り続けてきた湧網線が三月十九日、住民に惜しまれながら五十年間の歴史に幕を閉じました。この日鉄道ファンを満載した五両編成の列車「さよなら湧網号」が常呂駅に到着。さよならセレモニーが行われ、二度と走ることのない湧網線に、思い思いの別れを告げていました。

また、翌日の三月二十日には、湧網線の代替バスが運行され、新しい住民の足が確保されました。

お別れセレモニー 感謝をこめて花束

この日午前十一時から常呂駅一番ホームで開かれたお別れ式には、国鉄、町の関係者や住民、鉄道ファンなど約五百人が参加。旭川鉄道管理局の佐藤和生営業課長が「五十年間もの長い間、地域の皆様に愛されてきた湧網線の鉄路を廃止するのは残念。これまでの利用、本当にありがとうございました」とあいさつしました。

続いて、一日駅長となった齊藤町長が「地域に残した湧網線の功績は大きい。廃止後も違う形で地域を発展させたい。長い間ご苦労様でした」とお別れのあいさつ。このあと町の女子職員が、乗客代表の小松沢為一さん（末広、七三歳）運転手さん、車掌さんにそれぞれ花束が贈られました。

さよなら湧網号 思い出残し「蛍の光」

午前十一時二十分、「蛍の光」

送っていました。

のメロディが常呂中ブラスバンドによって演奏され、五両編成の列車「さよなら湧網号」がゆつくりと常呂駅を出発しました。

さまざまな思いを刻んできた湧網線。五十年間の鉄路と共に生活してきた室田信治さん（共立、七五歳）は、奥さんや友人達と列車に乗り込み「にぎやかなお別れ式だったけど、最後はさびしい思いがするよ」と、共立駅で、下車してさよなら列車を見

3月20日、湧網線代替

バスが運転開始



湧 網 線

長い間ありがとうございました

昭和62年3月19日

旭川鉄道管理局



中湧別駅



網走駅



計呂地駅



常呂駅

サロマ湖の夕日



佐呂間駅

*湧網線廃止に伴い、ホタテ貝を形取った台紙に切符を収めた記念切符（入場券・乗車券）のセットを発売しました。
*2つ折りになっていて
これは表側

*下は、2つ折りの裏側



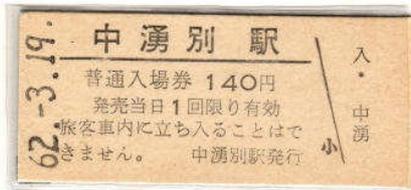
湧網線のあゆみ

- 昭和10年10月10日 湧網東線、網走・卯原内間開通営業開始
中間に二見ヶ岡停車場を開業
- 昭和10年10月20日 湧網西線、中湧別・計呂地間開通営業開始
中間に芭露停車場を開業
- 昭和11年10月10日 湧網東線、卯原内・常呂間開通営業開始
中間に能取停車場を開業
- 昭和11年10月17日 湧網西線、計呂地・中佐呂間（現 佐呂間）間開通
営業開始
中間に床丹停車場を開業
- 昭和27年12月6日 湧網東線、常呂・下佐呂間（現 浜佐呂間）間開通
営業開始
中間に北見共立、北見富丘の両停車場を開業
- 昭和28年10月22日 湧網西線、中佐呂間（現 佐呂間）・湧網東線 下佐呂間
（現 浜佐呂間）間開通営業開始
中間に知来、仁倉の両停車場を開業
湧網東西線が中湧別・網走間全通に伴い湧網線と改称した。
中佐呂間を佐呂間と改称
- 昭和62年3月19日 湧網線全線、旅客営業廃止、3月20日より
バス代替輸送



*2つ折りを開くと、湧網線音筒略な年表と入場券・乗車券のホルダーがあります

さようなら湧網線 記念入場券



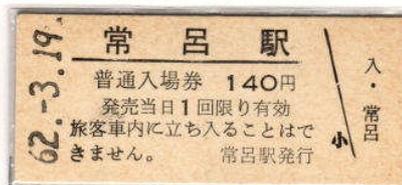
◎開駅 大正5年11月21日



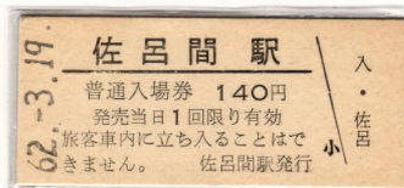
◎開駅 大正1年10月5日



◎開駅 昭和10年10月20日

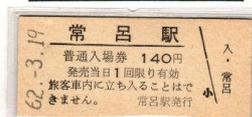


◎開駅 昭和11年10月10日



◎開駅 昭和11年10月17日

さようなら湧網線 記念入場券・乗車券



◎開駅 昭和11年10月10日



*上は、湧網線各駅の入場券（3月19日のスタンプ付き）

*左は、入場券と乗車券（2枚の乗車券は、それぞれ常呂から卯原内、網走ゆき）